

令和7年度 戸畑区医師会看護専門学校 3年次校内実習

◆日 時:令和7年8月12日(火) 8時30分～10時30分

◆場 所:戸畑区医師会館 4階講堂

◆講演内容:「在宅療養・在宅医療について」

～人生会議でその人らしい選択を支える～

講師:戸畑在宅医療・介護連携支援センター

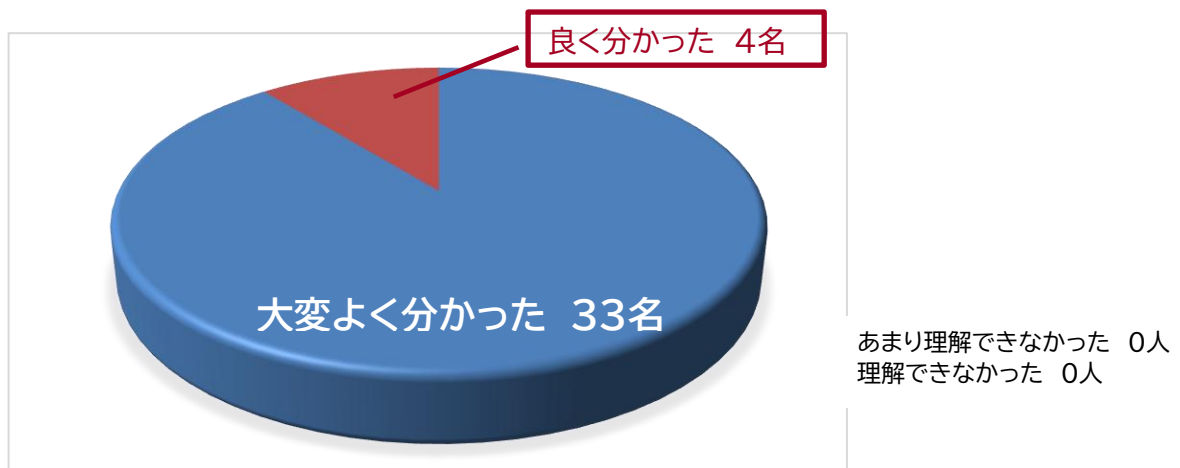
看護師 村川 朋子

◆参加者: 50名 (内訳:講師1名、参加者38名、教員2名 もしバナファシリテーター9名)

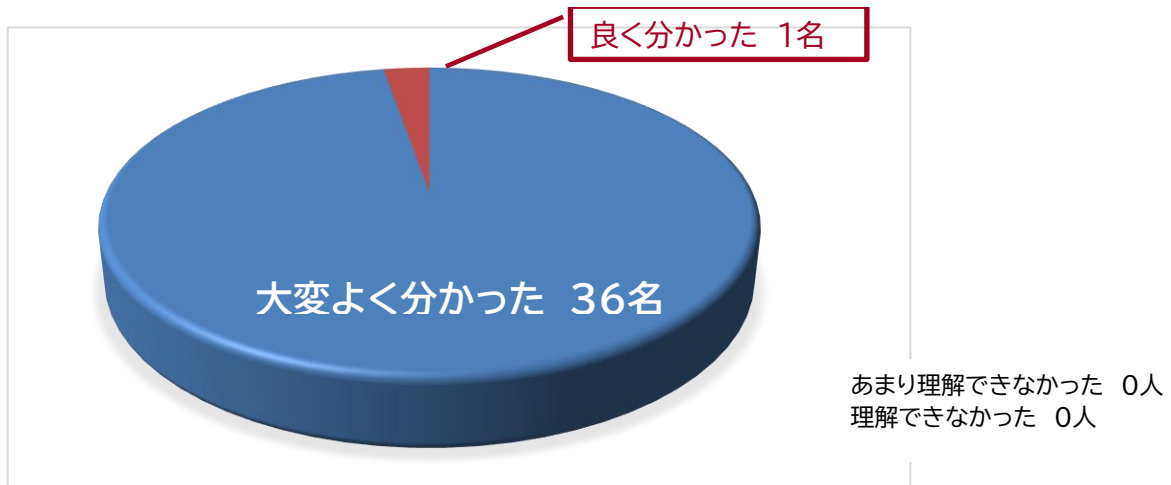
◆アンケート集計結果 n=37 回収率100% (学生のみ回答)

(学生38名の分布:20歳代 16名 30歳代 15名 40歳代 7名) うち男子学生7名

1、在宅医療がなぜ必要になったか【理解度】 100%の方が「大変よくわかった」「分かった」と回答



2、ACP～人生会議～の必要性【理解度】 100%の方が「大変よくわかった」「分かった」と回答



3、もしバナゲームを体験して【感想】

- 自分の思いや死生観について考えることができました。本人の思いや考え、家族の思いを早くから考える事の大切さを学ぶことができました。看護師として、分かりやすく説明し、寄り添えるように頑張ります
- 自分や家族のことを向き合った考えて整理できた。家族とこれからも思いや「もしものとき」の話をたくさんしていきたい。
- グループメンバーの価値観を知り、自身の考えも改めて再確認することができた。家族とも今日の体験を共有したいと思った。
- 初めて体験しました。自分でも気づかなかった価値観を知る機会となり、同時に時とそれぞれ違うということに改めて気づくことができました。この考えを忘れずに看護師になりたいと思います。ありがとうございました。
- 自分が何を大切にしているのか、もしバナゲームで分かった。とても大切であり、人生会議が必要だと思った。
- 相手の立場になって考えるきっかけになった。また、母の立場、息子の立場の考え、大切にした価値観を知ることができた。
- 違う年代の人たちでゲームをする事で、考え方・立場で考え方が異なることが理解できた。様々な年代の方に関わることがあると思うので、その方の価値観を大切に寄り添って関わっていきたい。
- 初めてのもしバナゲーム…自分の最期を考えているうちに家族ともしたいなと思った。普段あまりこういった会話をしないので、このカードゲームで皆の気持ちを知りたいと思った。患者の気持ちもだけど、家族の気持ちにも寄り添いたいと思った。
- 実際に自分が今大切にしていることや、価値観など、私自身もわかっていないことに気づくきっかけになり、色々人生について考えることができてよかったです。ありがとうございました。
- カードを選んでいく中で、自分の最期に向けて何が必要なのか選択していくことで、自分が何か一番大切に譲れないものが何か、気づけることができ、もしバナゲームを経験して良かったです。
- 自分の価値について知ることができた。
- たくさんあるカードの中から選べたので、自分にとって大切なことに気づきやすかった。
- 自分の終末期の希望をあらためて考えるいい機会になったし、まわりの方々の考え方も参考になる部分が多かった。
- 自分が何を大切にしているのか、改めて考える機会になりました。
- 自分がなにを大切にしているかがよくわかった。
- 自分の余命を宣告された時、どんなことを選ぶのか、自分について知ることができた。メンバーの中でも価値観が違ったりしていたので、患者さん一人一人にも思いがあると改めて気づき、看護に活かそうと思うきっかけになりました。
- 「痛いこと、きつい事は嫌だ」は周囲に伝えてはいたが、具体的に「どう過ごしたいか」についてまでは考えておらず、自分の今まで気づかなかった価値観について知ることができた。定期的に考えていきたいと思う。
- 自分の考えを伝えることはとても重要であると感じた。メンバーの考えを聞くことができ、人生会議の大切さを感じた。
- 自分の最期を考え、カードを選ぶとき悩んだが、最後残ったカードがみんな違って面白かった。また何年後かにやりたいです。
- もしもの話ですが、考えさせていただきました。私は障害支援センターでヘルパーをしているので、ピアカンや事務者会議に取り入れてもらって、行いたいと思いました。
- もしバナゲームを体験して自身の価値観や思いを知ることができた。話しにくい事でもカードを通してメンバー間で話し合うことができた。
- 自分の考えをしるいい機会になりました。ありがとうございました。
- 自分の価値観や思いなどを考える機会がなかったので、今回いい機会になった。
- 人によって、私が選んだカードの意図や捉え方が違った。

- 家に帰って家族にも事前に聞いてみようと思った。
- 自分の人生について、今の段階ではどういった気持ちなのか、知ることができた。
- 自分の価値観や他の人の価値観を知れてよかったです。
- 死について、あまり考えることがなかったので、いい経験となった。
- 自分自身の死を迎える時の考え方を知ることができた。
- 自分がなにを優先していきたいか、最期を迎えたいかを知ることができた。大切な人がどう考えているのかも知りたくなった。
- 自分が家族を思ったより大切にしていることが分かった。家族・母との人生会議をしようと思った。
- 死生観について改めて考えることができて良かったです。
- 自分が大切にしていることが分かったきがする。両親・祖父母・大切な人と人生会議をし、安心して最期を迎えてもらいたいと思いました。
- 終生について、少し意識して考えることができた。
- 途中参加でしたが、貴重なお話を聞けて感謝いたします。
- 両親や祖父母としてみたいと思った。
- より大切な3枚を、5枚の中から選ぶのが難しかった。
- とても楽しみにしていたので、間に合わず残念でした。

以上
原文のまま記載